

第5回「堺キッチンセレクション」

公募概要資料

堺市 地域産業課 振興係
株式会社Culture Generation Japan

次第

■ セミナー

「伝統産業をとりまく市場環境の変化と、いま求められていること」

14:00 ~ 14:45

講師：

株式会社Culture Generation Japan 代表取締役

堀田卓哉

■ 事業説明

14:45 ~ 15:15

■ 個別相談

15:15 ~ 16:00

はじめに

伝統産品である「刃物」「注染・和晒」「線香」とそれらの伝統産品の魅力を引き立てる逸品を「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランドとして認定し、本市の伝統産業及び認定商品の魅力を一般消費者や様々なメディアに広く情報発信することにより、「暮らしの質」への関心が高い人を中心にアプローチし、堺の伝統産業の認知度向上や伝統産品のブランド力強化等に寄与することを目的とします。



「刃物」



「注染・和晒」



「線香」



sakai kitchen〈堺キッチン〉とは

堺の優れた伝統技術をもっと多くの人に知っていただきたいという思いから立ち上がったブランド。
「道具を愛することは、暮らしを愛すること。"日々の暮らしを愛する"」をブランドコンセプトに、
愛着をもって長く使い続けられる上質なアイテムを提案します。



「丁寧な暮らし」を価値とする層



30代後半女性。夫と共働きの二人暮らしで、丁寧な暮らしを大切にするライフスタイル志向。土鍋や作家ものの器を愛用し、作り手の背景に共感して選ぶ。週末はマーケット巡りやライフスタイルショップを訪れ、リアルな体験を重視。「一生もの」の道具に価値を見出す。

アッパーミドル層



40代半ば男性。デザイン性や本質を重視し、消費は背景や作り手への共感が基準。道具やクラフトへの造詣が深く、職人の哲学に価値を見出す。妻と娘と共にサステナブルな暮らしを実践し、「育てる消費」を楽しむ。週末は工房訪問やクラフトイベントを巡り、同じ趣味を持つ仲間へSNSで発信。

ファッショニスタ層



30代前半女性。ファッションで磨いた美意識を活かし、器やインテリアも“着こなす”ように選ぶ。ファッション感覚で道具をコーディネートし、タイムレスで本物志向のライフスタイルをSNSで発信。手触りや背景を大切にする、リアル店舗での体験重視型の消費スタイルが特徴。

第4回「堺キッチンセレクション」 実施概要（令和6年度）

第4回sakai kitchen〈堺キッチン〉実施内容

事業内容

伝統産品である「刃物」「注染・和晒」「線香」とそれらの伝統産品の魅力を引き立てる商品を審査し「堺キッチンセレクション」として認定。sakai kitchen〈堺キッチン〉ブランドとして、認定商品の情報の発信と販売機会を提供。認知度拡大へと繋げる。

主な内容

- ・sakai kitchen〈堺キッチン〉公式ホームページにて認定商品を紹介
- ・堺の特産品を集めた堺伝匠館の店頭やオンラインショップにて販売
- ・代官山 蔦屋書店内での販売、スペシャルイベントの開催
- ・工芸品を取り扱うオンラインストア「リアルジャパンストア」での販売
- ・インフルエンサーによる情報の拡散
- ・当事業で制作した、各事業者のショートムービーの配信

第4回sakai kitchen〈堺キッチン〉

認定事業者（敬称略）

刃物（3社）

注染・和晒（2社）

伝統製品の魅力を引き立てともに輝く逸品（1社）



株式会社高橋楠



株式会社福井



株式会社ダイキチ



株式会社協和染晒工場



竹野染工株式会社



ハイテン工業株式会社

第4回認定商品



sen 閃 ペティナイフ黒打、磨き、鏡面
[株式会社高橋楠]



刃道 潮騒 小文化135mm、
文化180mm、切付牛刀
210mm [株式会社福井]



堺一文字吉國作AUS10流清 燦藍 三徳包丁
180mm
[株式会社ダイキチ]



注染扇子 [株式会社協和染晒工場]



hirali 手ぬぐい
[竹野染工株式会社]



KON-KOU ~混淆~ incense holder
【堺包丁】【BALANCE】
[ハイテン工業株式会社]

公式サイトでの情報発信

各事業者のMOVIEとSTORYを上方に設置し、事業者を印象づけるTOPページに。制作へのこだわりや職人を認知する事で商品の付加価値、差別化へと繋げる。商品紹介ページは、購入導線を設置。堺伝匠館のオンラインショップに遷移し購入が可能。



私たちについて
ムービー
ストーリー
商品一覧
コンテンツ
お知らせ
お問い合わせ
JPN / EN

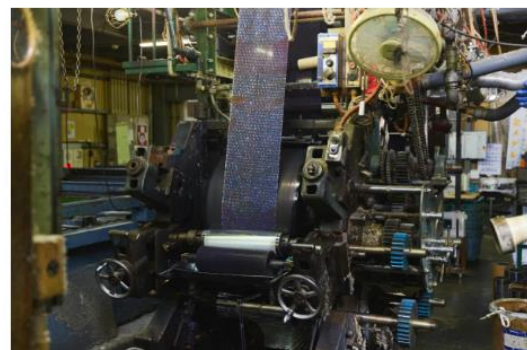
全国でも珍しいロール捺染で手ぬぐいを染める

堺市毛走町を流れる石津川沿いは、かつては和紙の産地として知られ、今も周辺には生糸をさらす工場や織屋があることから、手ぬぐいをつくる会社が集まっています。そんな町工場の一つが竹野染工です。

一般的に、手ぬぐいの染色方法は洋染、プリント、ロール捺染（なっせん）の3つ。なかでも竹野染工が得意としているのがロール捺染です。染色したい場所に糊を固めた染料を金型でのせ、押し染める技法を「捺染」と呼びます。糊や色染を糊塗に表現することに長けた技術で、「ロール捺染」では専用の機械を使いロール状の金型で生地に染料を押し染めます。染めから乾燥までの工程は1台の機械で完了し、1時間に約3000mものさらしに染色を施すことが可能です。

年代ものの機械と職人技が織りなす繊細な染色

工場に足を踏み入ると目に飛び込んでくるのは、中央に設置する巨大で豪華な機械。大きな音をたてながらいくつもの歯車が回り、上部では染め出しのボイラーから蒸気がモクモク……。サイバーパンクさながらの風景に思わず息をのみます。



コンセプトは「モノづくりの魂」

「刃の道」と書いて「HADO」。茶道、拳道、柔道、武道……所作や道具、周囲の空間にまで意識を向けながら最高レベルの技を目指す「道」という、日本ならではの感性を包丁と漆と込んだブランドです。単によく切れるだけでなく、すべての人に“持つ感動”を伝える、魂のこもった包丁づくりをしています。

日本刀のようなコントラストが美しい刃は、あえて全面を磨ききらずに錆目を残す無骨な仕様。一方で、背やアゴ（刃の一番ハンドル寄り側の角の部分）といった手にあたる部分は丁寧に角をとっている。鋭い握り心地。暖かみのあるウォルナットの柄は品のよいデザインで、使うほどに味がでるので愛着も湧くはず。

今回は、135mmの小文化、180mmの文化、210mmの切付牛刀の3種類をラインナップしています。小文化は、小さくても大きくもぎもまない絶妙なサイズ感で、一人暮らしの方や、ささっと軽食を作りたい時に重宝しそう。文化は料理好きの方やファミリー層に、切付牛刀はプロの方にもおすすです。

パッケージには、パリを拠点に世界各国で活躍するアーティスト、フィリップ・ワイズベッカーによるドローイングを採用。従来の包丁の儼かなイメージとは異なるHADOならではの世界観を表現しています。

価格：34,100円（税込）

[企業情報はこちら](#)

ご購入はこちらから

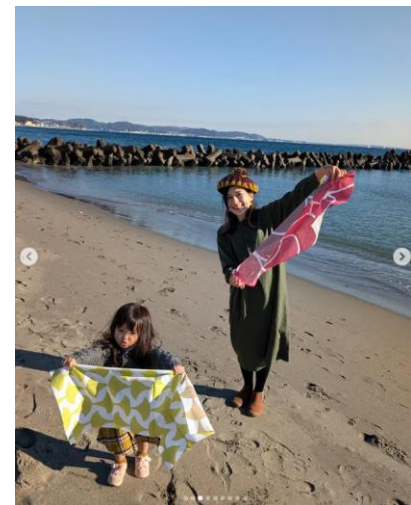
- ・ [機械 小文化 135mm SPG2](#)
- ・ [文化 180mm SPG2 ウォルナット柄](#)
- ・ [切付牛刀 210mm SPG2 ウォルナット](#)

sakai kitchen〈堺キッチン〉公式サイト
<https://sakai-kitchen.jp>



情報の発信：Instagramを用いた発信、インフルエンサーによる商品紹介

6人のインフルエンサー（フォロワー20,000～160,000人）に、認定商品を使用いただき、商品情報を拡散。



情報の発信：各事業者のPR動画制作

「工場の日常」をテーマにした各事業者の動画を作成。認定商品をなるべく用いて、商品が仕上がるまでの工程を撮影。商品だけではなく職人や携わる方達の表情など取り入れる事で、事業者への親近感や商品への付加価値を感じてもらえる印象に。公式サイトとYouTubeチャンネルで視聴が可能。

MOVIE



ハイテン工業株式会社 2024



株式会社協和染晒工場 2024



竹野染工株式会社 2024



株式会社福井 2024



株式会社ダイキチ 2024



株式会社高橋楠 2024

YouTube @sakai-kitchen
<https://www.youtube.com/@sakai-kitchen>



認定商品のプロモーション・イベント

その他 市が関係するイベント等での認定商品の展示・販売等（令和6年度）

2024年9月 KANSAI ものづくりフェア2024への出展

関西国際空港にて、地域に根差した地場産業や伝統工芸等を広く紹介するとともに、製品展示とワークショップを行うイベントに出展

2024年9月～11月 堺まつり、チエコフェスティバル、堺市農業祭にて展示・販売

市関連イベントに出展・販売

2024年10月～11月 フランスのディジョンとパリで開催される企画展『「伝統と先端と」～日本の地方の底力～』にて展示・販売

「衣食住」をテーマとし、日本の地方に根付いた伝統産業技術にスポットを当て現代の生活にモダンに取り入れられている製品として、認定商品を展示

2024年12月 KITTE大阪にて展示・販売

2025年1月 外務省主催イベント「地域の魅力セミナー」にてPR

都内の八芳園にて駐日外交団、駐日外国商工会議所、民間企業等の関係者に向けてPR

2025年2月 近畿財務局主催イベント「関西交通ネットワーク大商談会」に出展

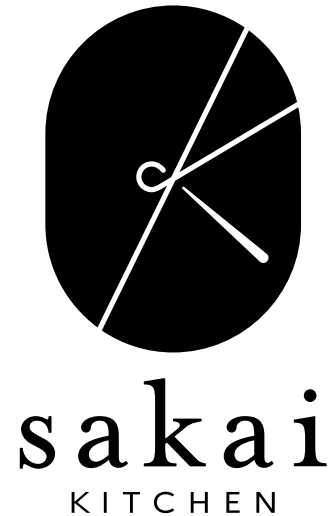
西日本地域の高速道路のSA・PAや、NEXCO西日本オンラインショップ、JR西日本のオンラインショップ、関西エアポートグループが運営する空港内の免税店・物販店等のバイヤーが集まるイベントにてPR

2025年1月～3月 ららぽーと堺での展示

ライブラリースペースに展示



第5回「堺キッチンセレクション」について



第5回「堺キッチンセレクション」は、伝統産品である「刃物」「注染・和晒」「線香」と
それらの伝統産品の魅力を引き立て共に輝く逸品を
「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランドとして認定するものです。

認定商品は、堺市より広報支援・販路開拓支援など様々なサポートが受けられます。

「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランド認定メリット

1 展示・販売機会の提供

- (1) 首都圏での展示・販売（代官山蔦屋書店T-SITE GARDEN GALLERY、日本橋横山町TOI BLDG.を予定）
- (2) Onland Storeのオンラインショップでの販売
- (3) 「堺伝匠館」の店頭やオンラインショップにて販売機会の提供
- (4) 市が関係するイベント等での認定商品の展示・販売等



代官山蔦屋書店T-SITE GARDEN GALLERY 上：TOIビル 下：Onland Storeオンラインショップ

堺伝匠館オンラインショップ

「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランド認定メリット

2 広報支援・情報発信

- (1) 販促効果を高める「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランドロゴマークの利用許可
- (2) 「sakai kitchen〈堺キッチン〉」公式ホームページにて認定商品を紹介
- (3) 当事業で制作した「sakai kitchen〈堺キッチン〉」のPR動画や撮影画像の提供
- (4) 各事業者のブランドイメージを伝えるショート動画の制作・提供及び配信によるブランドイメージの拡散
- (5) インフルエンサーによる情報の拡散
- (6) 市の広報紙やホームページ、SNS等、認定商品の情報発信

3 審査員からの助言

二次審査後に、地域産業に知見が深く、小売業に精通している審査員から応募対象商品へのフィードバックを提供

第5回認定商品の主なプロモーション・イベント

(1) 首都圏でのポップアップショップ・イベント開催 ①

DAIKANYAMA T-SITE GARDEN GALLERYで開催されるイベント「にっぽんの暮らし2026」に出展

- ・代官山蔦屋書店T-SITE内でも最も多くインバウンドおよび周辺住民の来場実績あるギャラリーでの開催に変更
- ・毎年12月に実施される同イベントは年末年始の購買ムードもあり、売上が期待できる
- ・来場者数 平日 約15,000人、休日 約20,000人
- ・選定事業者者の知名度・ブランド価値につながるワークショップやイベントを企画実施予定

開催時期：2025年12月下旬～2026年1月上旬



第5回認定商品の主なプロモーション・イベント

(1) 首都圏でのポップアップショップ・イベント開催 ②

「TOI BLDG.」での展示販売を実施

- ・株式会社Culture Generation Japanが運営する施設 TOI BLDG.2階での催事販売を実施
 - ・同時に自社オンラインショップ「Onland Store」での販売も実施
- 実施時期：11月中旬～12月中旬

- TOIビルコンセプト -

クラフト&コミュニティ「トイビル」は、江戸時代から日本の商いを支えてきた問屋街・日本橋横山町の地で、これからのクラフトを変える新たな“問い”を立てることをコンセプトに生まれました。（中略）クラフトの新しい拠点として人との、人與人、産地と生活者・事業者をつないでいきます。



<https://toi-bldg.jp/>



<https://toi-bldg.myshopify.com/>

第5回認定商品の主なプロモーション・イベント

(2) 各事業者のショートムービーの制作

ブランドのメッセージを伝えるショートムービーを各事業者分制作します。

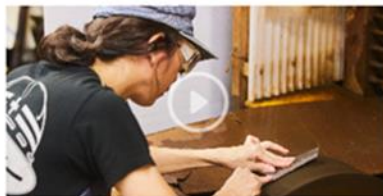
ショートムービー（1分内の動画）は広告ではなく、あくまで事業者のイメージを伝えるブランディング用の動画として制作をします。SNSと相性がよく、視聴者は共感・感動することで「拡散」「共有」という主体的なアクションを取ります。

昨年度の事例

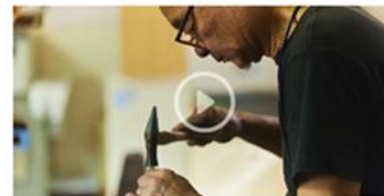
MOVIE



株式会社高橋植 2024



株式会社福井 2024



株式会社ダイキチ 2024



株式会社協和染晒工場 2024



竹野染工株式会社 2024



ハイテン工業株式会社 2024

※当事業で制作した「sakai kitchen〈堺キッチン〉」のPR動画や撮影画像はご提供いたします

認定商品のプロモーションに関して

SNSを活用したPRを通じて認定商品およびブランド全体の認知度向上につなげる

KPI : 年間PV数 50,000

フェーズ	目的	主な施策	スケジュール/ 頻度
① 認知	世界観・ブランドを知ってもらう	Instagram運用/ 広告	定期的にポス ティングおよび ストーリー投下
② 興味喚起	「自分ごと化」して もらう	インフルエン サー連動	POP-UP開催時に 合わせ実施
③ 流入	サイトへ誘導	Google検索広告	常時実施
④ 定着	PVを継続的に増やす	公式LINEの開設 とWEB誘導	常時実施

認定商品のプロモーションに関して

イベント告知にとどまらず、オンラインでのイベント体験の拡散およびECサイトへの動線設計を行うことで顧客体験の拡張と売上に寄与する施策を一気通貫で実施する。タグは：「#堺キッチンのある暮らし」「#一生ものの道具」「#道具を育てる暮らし」等、ターゲットを意識して設定する。



第5回「堺キッチンセレクション」 応募について

申請者は、次の全てを満たす必要があります。

1. 「堺キッチンセレクション」の趣旨に賛同いただける中小企業（個人事業主も含む）。ここでいう中小企業は、中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項に規定する者をいう。
2. 各種法令(家庭用品品質表示法、JAS法等)を厳守し事業を行っていること。
3. 商品の製造及び販売に必要な許認可や、意匠権、商標権、著作権、特許権等に関する許諾を得ていること。もしくは、許諾を得ることが見込まれていること。
4. 堺市内に本社、本店又は主たる事業所を有すること(II1 伝統製品の申請の場合に限る)。
5. 堺市内に本社、本店、営業拠点又は生産拠点のいずれかを有すること(II2 伝統製品の魅力を引き立てともに輝く逸品の申請の場合に限る)。
6. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条に定める業を行う者でないこと。
7. 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に基づく暴力団でないこと。
8. 認定商品について、堺伝匠館での販売（オンラインショップを含む）に原則応じること。
9. 当事業に関する取材への協力や催事等活動に協力的であり、当事業のPRのために認定商品の市への提供が可能であること。

※募集対象商品に応じて、別途対象事業者の要件があります（次ページを参照ください）。

ブランドコンセプトに合致する下記 1 又は 2 の商品。

当セレクションのために新たに開発する商品は二次審査時に販売可能な商品であること。

なお、申請商品は、1事業者につき、1商品までとします。

ただし、サイズ違いやカラーバリエーション、シリーズ展開がある商品については、原則用途が同一のものを1商品とみなします。

1 堺の伝統産品(刃物、注染・和晒、線香)

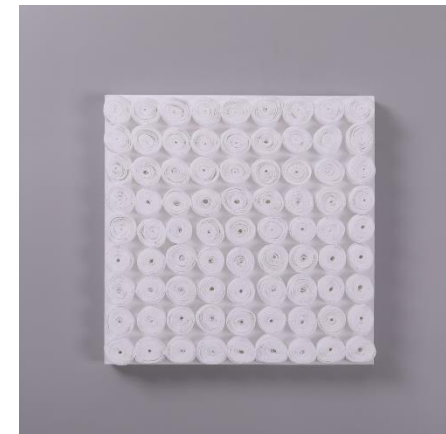
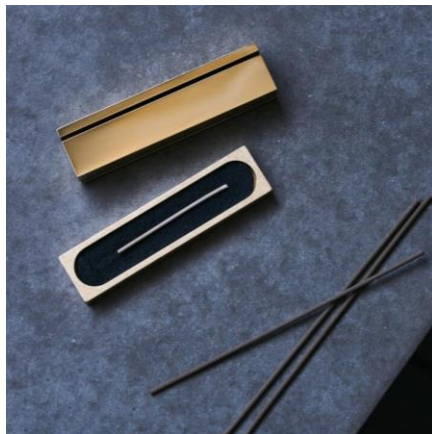
(対象事業者：本社、本店又は主たる事業所が堺市内に有する者)

2 伝統産品(刃物、注染・和晒、線香) の魅力を引き立てともに輝く逸品

(対象事業者：本社、本店、主たる事業所、営業拠点又は生産拠点のいずれかを堺市内に有する者) ※食品については対象外とします。

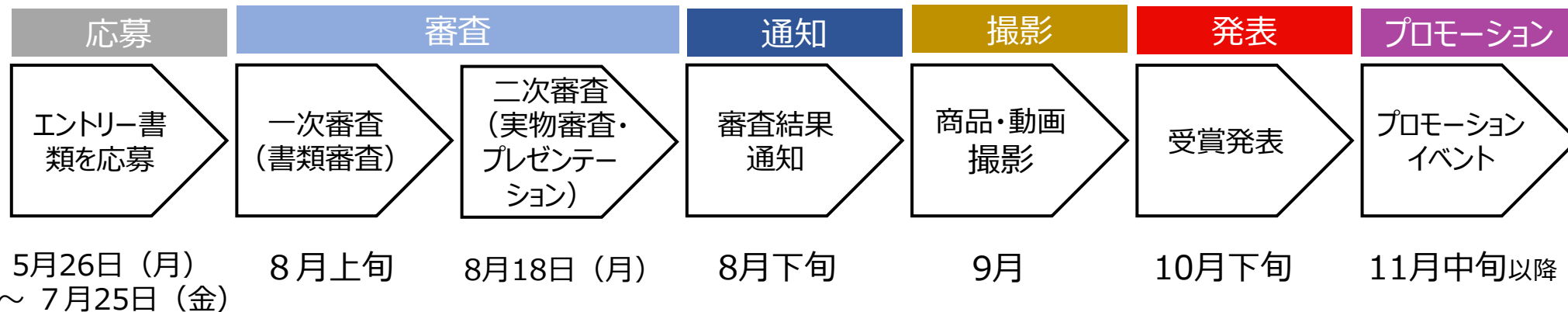
【例】伝統製品の魅力を引き立てともに輝く逸品

- ・ **伝統製品の使用、保管の場面において一般的に必要な器具、備品の類**
【例】線香立て、香炉、包丁を保管するケース、包丁スタンドなど
伝統製品の使用・保管の際に伝統製品と接触する場面のあるもの。
- ・ **伝統製品をイメージさせる（伝統製品そのものを活用しない）伝統製品以外の商品**
【例】技術から伝統産業をイメージさせるもの（堺刃物の技術を活用したフォーク・ナイフ等）
- ・ **伝統産業事業者以外の事業者が伝統製品の新たな活用方法を提案する商品**
【例】和晒活用のホームウェア、注染の手ぬぐいを活用したインテリア用品等



応募の手順 全体の流れについて

スケジュールイメージ



※ 6月中旬に説明会
を実施予定

応募の手順 全体の流れについて

「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランドの認定については、事業者等からの申請を受け、その申請に係る商品が認定基準を満たしているか審査し、認定します。

1 一次審査(書類審査)

申請書類の内容が満たされているか、書類審査を行います。

2 二次審査(実物審査)

一次審査を通過した商品については、審査基準に基づき、事業者によるプレゼンテーションと応募対象商品の実物審査を行います。

3 審査結果

文書にて通知します。

4 認定商品プロモーション・イベント

11月以降に「sakai kitchen〈堺キッチン〉」ブランド認定を受けた商品のプロモーション・イベントを開催します。

第5回「堺キッチンセレクション」は次の審査基準に基づき選定します。

整合性 「sakai kitchen 〈堺キッチン〉」のブランドコンセプトに合致している。等

貢献性 堺の伝統産業の魅力発信に資する度合いが高い。等

信頼性 品質維持・向上に関する取組や技術的な裏付けがある。等

市場性 類似の商品・産地と比べて優位性・独自性がある。等

訴求性 消費者の心を惹きつける強い魅力を有している。等

外部審査委員のご紹介

専門的な見地からアドバイスを受けられるチャンスです！



生駒芳子氏

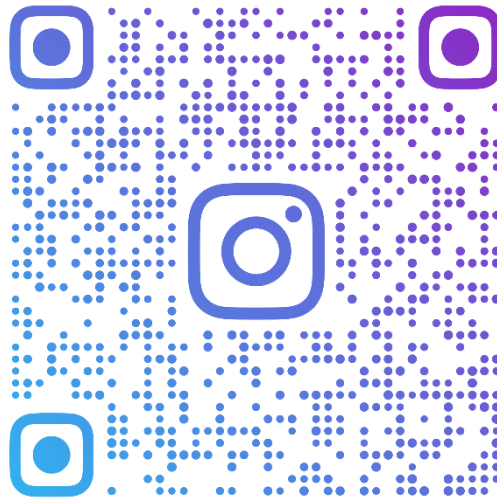
VOGUE、ELLE の副編集長を経て 2008 年より「マリ・クレール」の編集長を務め、独立。ファッション、アート、デザインから、社会貢献、クール・ジャパンまで、カルチャーとエシカルを軸とした新世代のライフスタイルを提案。地場産業や伝統産業の開発事業、地域開発など、地域創生に数多く取り組む。2015 年より文化庁日本遺産のプロデューサー事業を手掛ける。2018 年より、伝統工芸をベースにしたファッション&ジュエルブランド「HIRUME」をスタートさせる。



田中智子 氏

株式会社三越伊勢丹に38年間勤務リビング、インテリア生活雑貨関連（アート含む）のバイヤーを経て営業部、商品部の責任者を担い、商品開発や売場開発、人材育成に取り組む。伝統的工芸品産業振興協会、日本クラフトデザイン協会の審査員等経験。現在は、京都商工会議所はじめ日本の各産地のものづくりのアドバイスや販路、店舗開発、リビング・雑貨分野のお買場開発及びプロモーション計画立案等、東京都中小企業振興公社ニューマーケット開拓支援ビジネスナビゲーター。

Instagram



SAKAI_KITCHENSELECTION

ぜひ、フォローをお願いします！

堺市の優れた商品をお持ちの事業者の皆様からのご応募をお待ちしております！

応募の詳細は、sakai kitchen〈堺キッチン〉
公式ホームページをご覧ください。



<https://sakai-kitchen.jp>